

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

 学校ICT環境推進事業 438万円

 教育用コンピュータ整備事業 1,884万円

戦略5 (担当：学校教育課指導係)

市内全ての中学校にタブレット端末を導入し、授業のツールとして活用することにより「わかる授業」を実現し「確かな学力」の育成を図りました。

また、市内中学校教職員用のパソコン等を更新し、学校の情報化を推進するための整備を行いました。



タブレット端末を使用した授業の様子

 スクールバス運行事業

戦略4 3億9,220万円

(担当：学校教育課学務係)

スクールバスを運行し、遠距離通学となる園児・児童生徒に対する通学支援と安全確保を図りました。

 放課後健全育成事業(放課後児童クラブ)

戦略3 1億2,465万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

共働き家庭などの児童を預かり、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図るため、市内全地区で放課後児童クラブを実施しました。

北部学校給食センター整備事業

戦略5 11億6,678万円

(担当：教育総務課教育環境係)

老朽化が著しい施設を統合し、新たに北部学校給食センターを建設しました。

また、給食提供体制を再編し、安全で安心な給食を提供するための体制を整えました。



北部学校給食センターの外観

学府くりはら「教員等配置事業」

戦略5 6,341万円

(担当：学校教育課指導係)

市独自に教員を採用して35人学級を編制することにより、きめ細かな教育活動を行い、学校生活の基本となる学習習慣や生活習慣の着実な定着を図りました。

学府くりはら「少人数指導事業」

戦略5 669万円

(担当：学校教育課指導係)

生徒の習熟度に応じた教育を行うため、中学校の国語・社会などの特定教科の授業において、少人数指導の教員を配置し、きめ細かな指導を行い、学力向上を図りました。

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します

新 = 新規事業、**拡** = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

新 クロスカントリーコース整備事業 戦略3 454万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

築館総合運動公園いこいの森内に、自然の起伏を生かしたクロスカントリーコースを整備するため、測量設計を行いました。

拡 陸上競技場施設整備事業 5,801万円

【H28年度への繰越額 6,058万円】

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

築館陸上競技場で開催する各種陸上競技大会のウォーミングアップ場として、競技場北側に補助競技場の整備を行いました。



築館陸上競技場補助競技場

拡 ホッケー競技推進事業 戦略1・5 1,351万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

「ホッケーのまちくりはら」を確立し、競技力を向上するため、オーストラリアの中学生・高校生世代のホッケーチームとの交流試合や、女子ホッケー日本リーグを開催しました。また、競技の普及を推進するため、モデル校となる市内小学校へ、スーパーホッケー用具を配置しました。



スーパーホッケー用具を活用したホッケー教室



女子ホッケー日本リーグを開催

(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります

新 市内民俗資料集約事業 334万円 (担当：文化財保護課文化財係)

昔の人たちの生活を知ることができる民俗資料を後世に残すとともに、展示活用を図るため、市内各地で保管されていた資料を、閉校した旧富野小学校に運び、整理・集約を行いました。



集約した足踏み水車

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」 (1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

新 子どものための保育給付事業

1億2,266万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

待機児童の解消を図るため、0歳児から2歳児を保育する民間の地域型保育事業所などに、事業費の一定額を給付し、民間事業者の参入促進を図りました。



地域型保育事業における保育の様子

拡 幼稚園預かり保育事業

戦略4

4,915万円

(担当：学校教育課学務係)

家族の就労などの理由により栗原市立幼稚園の教育時間以外に、家庭において保育に欠ける園児を対象とした預かり保育を行いました。



預かり保育の様子

児童虐待防止対策事業

戦略3

530万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

児童虐待をなくすため、関係機関と連携し3人の相談員が家庭内の様々な相談に応じました。

また、市民向けの講演会を通して、児童虐待予防の啓蒙を図りました。

延長保育事業 戦略3

93万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

保護者の勤務形態の多様化に対応するため、保育所の延長保育を、夕方の延長保育(午後6時30分から午後7時まで)とあわせて、午前7時から午前7時30分までの早朝延長保育を行いました。

●平日利用件数 延べ 399件

●土曜日利用件数 延べ 192件

特定不妊治療費助成事業

戦略3

361万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

少子化対策の充実を図るため、医療保険が適用されず、高額の治療費がかかる特定不妊治療費を助成し、経済的負担を軽減しました。

1年度あたりの助成回数は、申請1年度目は3回、2年度目以降は2回まで助成しています。(通算5年間で10回まで)

親子ふれあい促進事業

154万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

就労等の理由により育児相談に出向くことが難しい保育所入所児童の保護者などを対象として、専門相談員による育児相談を実施し、家庭保育の不安解消等を図りました。

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

=新規事業、 =拡充事業 (事業名の頭に標記)

一時保育事業 **戦略3** 1, 469万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

保護者のパート就労や病気、冠婚葬祭、育児等に伴う心理的・肉体的負担の解消のため、市内10か所の保育所で、一時的(緊急的)にお子さんを預かる事業を実施しました。

- 1日利用件数 延べ 927件
- 半日利用件数 延べ 337件

地域子育て支援センター運営事業

戦略3 1, 569万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

地域全体で子育てしやすい環境を推進するため、育児不安を抱える母親の相談や子育てサークルの育成支援等を行うセンターを市内9地区で行いました。

- 利用実績 (9地区合計)
 - ・ 児童人数 合計 13, 217人
 - ・ 保護者人数 合計 11, 595人
 - 合計人数 24, 812人

子育て応援医療費助成事業

戦略3 2億663万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

乳幼児、小学生、中学生の適正な医療機会の確保と子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、入院及び通院に係る医療費のうち、保険診療による自己負担額を助成しました。

【助成件数】

- 未就学児 延べ 54, 747件
- 小学生 延べ 40, 663件
- 中学生 延べ 18, 639件



子育て支援センターでの保健講座

母子保健健康診査事業 5, 224万円

戦略3 (担当：健康推進課保健指導係)

妊婦の異常の早期発見・早期治療を促すとともに健康管理の向上を図るため、妊婦ひとりあたり一般健康診査14回の助成を行いました。

また、乳幼児健診は2か月児から3歳児までのお子さんの疾病の有無や、成長発達の確認、育児の相談を医師、歯科医師、保健師等の専門職が行いました。

すこやか子育て支援金支給事業

戦略3 2, 001万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

少子化対策及び子育て世代の定住促進を目的に、出生祝金及び入学祝金を支給しました。

- 出生祝金

第1子	138件
第2子	130件
第3子	75件
第4子	18件
第5子以降	4件
- 入学祝金

第3子以降	83件
-------	-----

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

自立相談支援事業

542万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

福祉事務所内に福祉相談窓口を設置し、生活困窮に陥りやすい長期間失業状態が続いている方や債務のある方、引きこもりの方など生活に不安のある方に対し、相談支援員等が個別に就労など自立に関する相談支援を行いました。

平成27年度相談受付件数 106件

性別		年代別	
男性	57件	～10代	0件
女性	49件	20代	8件
計	106件	30代	13件
		40代	15件
		50代	26件
		60代以上	37件
		不明	7件
		計	106件

障がい者地域生活支援事業

7,472万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

訪問入浴サービス事業

自宅での入浴が困難な身体障がい者に対し、訪問入浴サービスを行いました。

日中一時支援事業

障がい者の日中活動の場を提供し、家族の就労支援や介護の負担を軽減するための支援を行いました。

日常生活用具給付等事業

障がい者等に対し、日常生活の便宜を図るための特殊寝台や紙おむつなどの日常生活用具を給付しました。

相談支援事業

障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供を行いました。

自動車運転免許取得費・改造費助成事業

障がい者の自動車運転免許の取得費用、自動車を改造する費用を助成しました。

移動支援事業

屋外での移動が困難な障がい者が外出する際の支援を行いました。



とっておきの音楽祭の様子



就労支援事業所による販売

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

いのちを守る総合対策事業

1億194万円

(担当：社会福祉課社会福祉係、健康推進課保健指導係)

市民とともに自殺防止に取り組む社会づくりのため、こころの健康サポーター養成研修や、自殺防止キャンペーン、自殺防止に関する講演会を実施しました。また、多重債務による自殺を防止するため、相談電話の設置、無料弁護士相談を実施するとともに、栗原市のぞみローンによる資金融資などに取り組みました。さらに、賢い消費者を育てるため、小中学生を対象とした金融教育の普及啓発事業も継続して実施しました。



栗原市自殺防止講演会の様子

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します

あったかトイレ整備事業

1億8,231万円

(担当：社会福祉課社会福祉係、市民協働課市民協働男女参画係
田園観光課観光振興係、社会教育課スポーツ推進係)



快適な環境に！

誰もが外出しやすい環境づくりのため、高齢者の利用が多い公共施設をはじめ、トイレの洋式化と温水洗浄便器の整備を行いました。

高齢者が安心して社会活動を行うことができるとともに、衛生面での向上を図りました。

高齢者生きがい健康づくり等事業 **戦略6**

6,803万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

在宅の高齢者が、生きがいを持ち、いつまでも健康に生活できるように各種福祉サービスを提供し、高齢者の支援を行いました。

生きがい活動支援通所事業、外出支援サービス（タクシー利用助成）、食の自立支援（宅配給食サービス）、緊急通報体制等整備事業など10事業を実施しました。



生きがい活動支援通所事業